

**Madrid metro branches out**

(マドリッド地下鉄の延伸)

マドリッドの地下鉄は 1919 年に創設され、これ以降既存線の延伸や新線を建設してきたが、ここ数年でこれまでになく大幅に拡張されている。この最近拡張された新線について、

- ・ 単線トンネルでは径 7.4m、複線トンネルでは径 9.4m であり、10 台の泥土圧式シールドマシンが投入され、何台かは再利用されていること
- ・ 複線断面の場合、セグメントは標準化されており、内径 8.4m・厚さ 320mm・長さ 1.5m の 7 分割 (k セグメント含む) により構成されていること
- ・ この径の最大月間掘進は 835m であったこと
- ・ 駅部は、開削工法の場合従来は地下 17~18m までが限界だったのに対し、地下 23m の駅舎構築が計画され、これに対応するために幅 1m 深さ 29m の地中連続壁を打設し、逆打工法により構築したこと

などが示されている。

\* 本号はなぜか通常の半分以下のページ数であり、速報対象となる文献はこれのみでした。